西の端からアジアの中心へ　長崎県佐世保市

新工業用地分譲へ

ウエストテクノ佐世保

長崎県佐世保市で新たな産業立地の期待が高まっている。今年12月に市内で工業団地「ウエストテクノ佐世保」の分譲が始まるためだ。明治時代から軍港として栄え、造船を中心に発展した産業が経済を支えてきた。一方で〝西の端〟という立地は、企業立地においてデメリットに取られることもあった。だが近年、インフラ整備や経済環境の変化とともに、その立地はアジアとの近さという強みに転換している。

固い地盤で震災リスクを低減（立地イメージ）

佐世保市が造成を進めている工業用地「ウエストテクノ佐世保」の分譲が、いよいよ2013年12月に始まる。市では早期分譲に向けて12年度に企業立地推進局を設置した。同局を中心に、企業誘致を産業振興の一丁目一番地に掲げ、汗をかいている。

東日本大震災以降、リスク分散の重要性は高まり、南海トラフ巨大地震に備える必要性も現実味を帯びてきた。その点でウエストテクノ佐世保は山を切り開き造成したため地盤が固く、高さも海抜43㍍にある。今後30年間の震度6弱以上の地震発生確率0・1％以下の佐世保市の中でも、さらに震災・津波リスクを抑えられる期待がある。

本土最西部に位置し、大都市圏から物理的距離のある佐世保は、一方でアジアとの距離が近い。これまでの「西の端」との認識は、交通インフラの整備により心理的距離は近づき、またアジアと物理的距離の近さは強みになった。空路で長崎空港が国内外を結ぶほか、近隣に福岡空港や佐賀空港がある。海路では長崎港や博多港、伊万里港が活用可能。さらに14年度に佐世保―韓国・釜山を結ぶ海上航路の開設が決まっており、アジアとの近さは物流面でも高まりそうだ。

交通アクセスでは、ウエストテクノ佐世保から最寄りの西九州自動車道佐々インターチェンジまで約2キロ㍍。高速道を通じて福岡空港、博多港まで約100分。九州の交通要衝・鳥栖ジャンクションまで75分で到達する。長崎空港と伊万里港は約60分の距離。今後は西九州道の延伸により、北側ルートでの福岡市方面への利便性が向上する。

長崎県内では各地で工業用地の分譲や造成が進んでいる。最近まで一定規模の用地は不足気味だったが、13年度から一転して産業の受け皿が整い始めた。その中でもウエストテクノ佐世保は、県内最大の分譲規模16・7㌶を誇る。単独立地による一面利用はもちろん、関連会社を含めた立地や区画分割のニーズに応える。分譲価格は1平方㍍当たり8000－1万円で、立地環境を考慮すれば抑えられている。

用地取得に関する補助もある。誘致にかかる佐世保市独自の優遇制度では、最大6億円の土地取得奨励金、5年分の固定資産税相当額を補助する同3億円の立地奨励金、常用雇用者1人につき50万円の雇用奨励金（最大1億円）などがある。このほか長崎県による最大20億円の生産設備向け補助をはじめ、各種優遇制度が用意されている。

立地後も新卒・中途や留学生の採用、研修費補助など人材確保や育成の支援がある。このほか産学官連携による共同研究や開発のコーディネートなど、市がワンストップでサービスを提供している。

造船と人材が支える

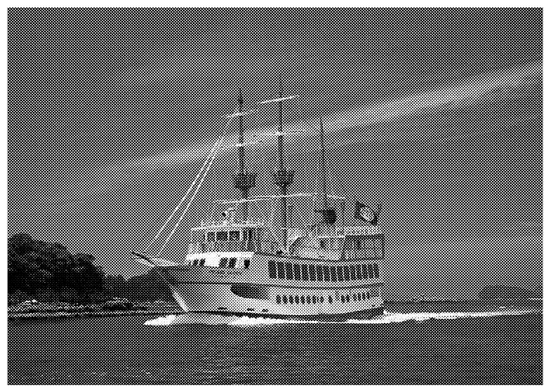
産業基盤

佐世保市のシンボルと言える存在が造船業だ。大規模事業所に限らず、関連産業のすそ野が広がり、産業基盤を支えている。佐世保は旧海軍工廠（こうしょう）をルーツに、造船が街を支えてきた。近年は海外との競争で苦戦を強いられているが、船舶の環境対策など成長分野を取り込み勝ち残りを図っている。従来型産業の振興が必要な一方で、新たな産業の立地は地域の期待がかかる部分だ。中でも雇用面での期待は大きい。

長崎県内への立地企業からは、人材を評価する声が聞かれる。立地の決め手に挙げる企業もある。高校生の第一種電気工事士や第三種電気主任技術者の国家試験合格者が長年全国トップクラスで、技術系人材の豊富さは客観的に見て取れる。

佐世保市内には九州西部で唯一の国立工業高等専門学校・佐世保工業高専があるほか、工業高校2校、工業系学科を持つ高校が1校ある。最近は地元志向が強いとされるが、人材の受け皿が少なく域外・県外へ人材が流出している現状にある。県内工業高校の就職者のうち約7割が県外に就職。また長崎大学や長崎総合科学大学でも、県内就職がかなわない学生が多くいる。技術を持ち「真面目で勤勉」とされる人材を受け止める産業や企業が求められている。

また長崎県の県民所得は低迷し、産業振興は県民所得向上の手段でもある。一方で立地企業にとっては人件費の抑制につながる。さらに単に労働力としてだけでなく、中核人材の確保がかなうのが長崎だ。県内には製造拠点に加えて、開発拠点を設ける立地企業も増えるなど人材の優位性が明確化している。


季節によっては夕景も楽しめる

自然、グルメ…

観光・生活に好環境

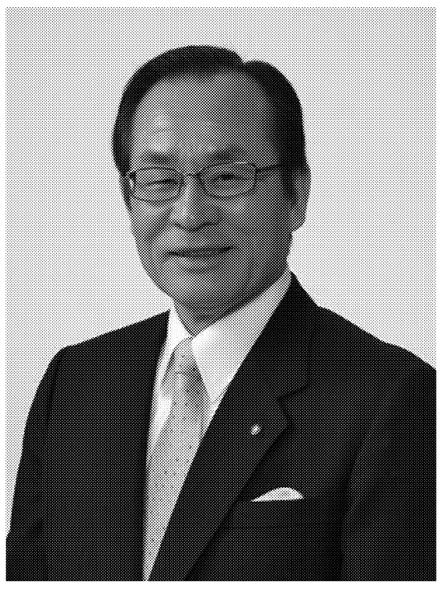
長崎県第2の都市である佐世保市は住環境も充実している。市内には400以上の病院・診療所があり、教育面でも基礎教育から高等教育までそろうため子育て世代に安心だ。買い物では日本一元気とされる市中心部の三ケ町・四ケ町商店街のほか、昔ながらの商店街やショッピングセンターもあるので便利。

余暇には豊富な観光資源が飽きさせない。ハウステンボスや佐世保バーガーが有名だが、それ以外にも多彩なレジャーが楽しめる。小島が200以上連なる西海国立公園九十九島は、展望台から眺めて良し、クルーズ船で潮風を感じながら見ても良しの絶景。冬場は絶品のカキ産地にもなる。佐世保発祥のレモンステーキや、ジャズバーなど米国文化が混じり合うのは佐世保ならでは。旧日本海軍由来のビーフシチューとぜんざいも、ぜひ味わってみたい。

また佐世保観光コンベンション協会主催のSASEBO時旅（ときたび）は〝地元の人しか知らない〟〝地元の人でもなかなか行けない〟、通なツアーが多数用意されているのでおすすめだ。

市と進出企業 相互に発展を

佐世保市長　朝長（ともなが）則男（のりお）氏



佐世保市は人口約26万人を数え、長崎市に次ぐ長崎県内第2の都市として、また県北部地域における中心都市として発展してきた。もともと、佐世保市は明治時代に軍港として開かれ港町としても発展してきたが、現在でもアメリカ海軍基地と陸海の自衛隊の基地が置かれるなど、異国情緒あふれるモダンな街並みや生活・文化が根付いた街である。

また、皆さまご存じのハウステンボスや西海国立公園など、多彩な魅力を持つ街としてもその名が知られており、国内外から多くの観光客の皆さまにもおいでいただいている観光都市でもある。

製造業も古くから大変盛んで、造船業をはじめ、金属加工や制御機器、通信機器などの基盤技術を持つ多様な企業が数多く立地しており、工業系の人材も、佐世保工業高等専門学校をはじめ、工業高校2校、工業系学科を持つ高校1校があるなど充実している。

さて本市では、今年度を「市政発展のさらなるステップのスタートの年」と位置づけ「佐世保から元気を」という強い思いで、本市の持つ地域ポテンシャルを活かし、「成長戦略プロジェクト」を立ち上げることとし、その大きな柱の一つとして、企業誘致の実現を目指すこととした。

市を挙げて進出企業様の発展に貢献することを通じて、本市との相互躍進を図りたいという思いの下、取り組むことといたしている。そのための受け皿として、今年の12月には、県内最大規模の工業団地、「ウエストテクノ佐世保」が誕生する。

この団地は、類似の団地と比較してもコスト競争力があるだけでなく、交通アクセスにおいても高速道路インターから大変近く、物流面でも国際航路の充実した佐賀県の伊万里港、福岡県の博多港などとも大変近い距離にあるなど、事業を大変展開しやすい立地環境にある。さらに佐世保港は、日本海側拠点港にも指定されており、来年度には韓国釜山港との貨客船も就航の予定と、ますます利便性が高まる。

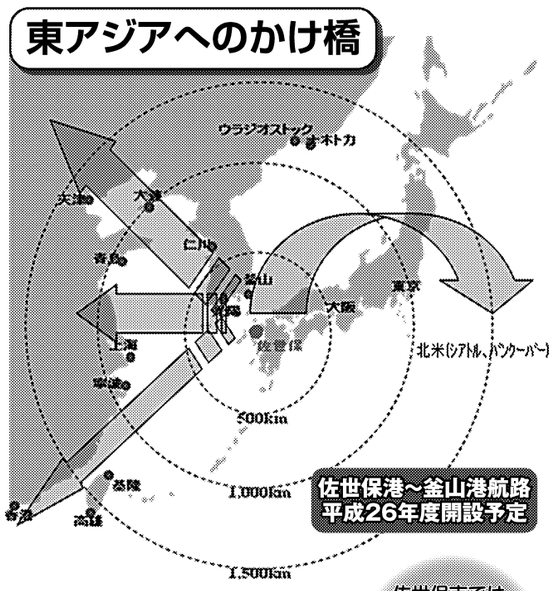
また私どもでは、企業の皆さまの立地に際して、さらには立地いただいた後のフォローに際しても、安心して事業に取り組んでいただけるよう、支援スタッフの充実と補助金などの優遇制度の充実を図っている。

地震などのリスクが低く、生活環境が整った安全・安心な佐世保市での事業展開をご検討いただけることを願っている。

日本の西端、東アジアへのかけ橋、九州のサブゲートウェイ

佐世保市は企業様の立地を全力で支援します

東アジアへのかけ橋



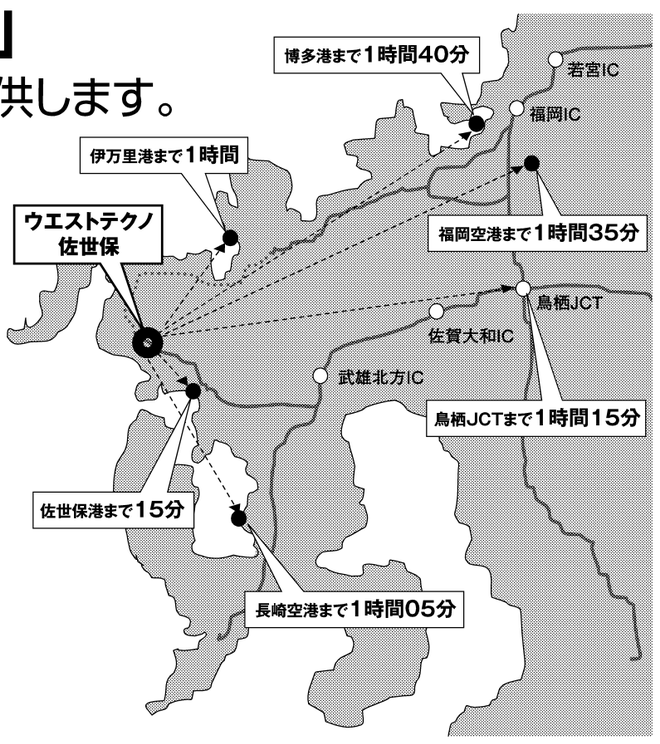
[佐世保市の優遇制度]
○用地取得への補助（最大6億円）
○土地や建物の賃借料への補助（最大3億円）
○雇用への補助（最大1億円）
○立地奨励金（最大3億円）
※投資金額や新規雇用者数などの要件があります。

佐世保市では、誘致企業様のきめ細やかなフォローアップをワンストップで実現します。

安全・安心な佐世保工業団地「ウエストテクノ佐世保」

地震が少ない佐世保市で、リスク分散に最適な立地環境を提供します。

16.7haの県内最大の大規模工業団地
平成25年12月分譲開始予定
分譲価格8,000～10,000円程度/㎡



ウエストテクノ佐世保の魅力

✲優秀で豊富な人材
通勤圏内に高専1校、工業系高校4校、大学3校が立地。

✲充実した優遇制度
市・県の優遇制度を併用した場合、最大40億円の優遇措置。

✲優れた交通アクセス
高速道路ICからわずか4分。福岡空港、博多港まで約90分～100分。

✲高い安全性
地震発生が非常に少ない地域特性。津波に対する高い安全性。

✲優れた生活環境
充実した医療・商業・教育施設。日本有数の観光スポット。

佐世保市　企業立地推進局
〒857-8585 長崎県佐世保市八幡町1-10
TEL(0956)25-9638　FAX(0956)25-9680
E-mail kigyou@city.sasebo.lg.jp

佐世保市東京企業誘致センター（佐世保市東京事務所内）
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1 日本都市センター会館11F
TEL(03)5213-9060　FAX(03)5213-9063
E-mail tokyo@city.sasebo.lg.jp

佐世保市
佐世保市HP http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/